



真摯に受け止め？ 土砂投入！

辺野古に米軍基地を作るための埋立の賛否を問う沖縄の県民投票では四三万票、七二%が反対。テニール県知事の得票を上回った。自公は「自主投票」と、県民投票にそっぽを向いた。しかし、少なからぬ自公支持者が反対票を投じたようだ。

「危険だ」と云いながら「沖縄県民の命を危険に晒しても構わない」と思っている証拠。

世界一危険な普天間

二〇〇三年、米国防長官ラムズフェルド氏は普天間基地を訪問。「世界一危険な米軍施設」と驚いた。それを念頭にしておか、安倍首相は「県民投票の結果を真摯に受け止め……世界で最も危険といわれる普天間基地が固定化され、危険なまま置き去りにされることは絶対に避けなければならぬ」と述べた。

もし、アベ自身が「世界で最も危険」と思

うなら、米国に「飛行停止」を求めるべきだ。ロシア中国と米国で戦争という情勢ではない。ロシア中国の脅威より現実の米軍機が危険だ。ところが、アベはただ辺野古の基地建設を続けると表明。

「危険だ」と云いながら「沖縄県民の命を危険に晒しても構わない」と思っている証拠。

普天間の飛行停止を

日本の米軍基地はロシア中国に近く、中距離ミサイルで簡単に潰される。元々戦略的意味が無い。米国内の海兵隊基地から世界中どこへでも行かれる筈。

日本政府が飛行停止を求めれば「飛行できない普天間基地は米軍にとって意味が無い」と返すしかないのでは？

あなたはどう思われますか？

大佛次郎記念館

横浜市中区港の見える丘

二〇一九年二月



港の見える丘公園には山下埠頭、氷川丸を眼下に望む展望台や、ロースカーテンがある。その奥に大佛次郎記念館がある。

大佛次郎は横浜市生まれ。一九三〇年代には山下公園前のホテルニューグランドを仕事場として小説「霧笛」等を執筆。元町「百段坂」近くが小説の舞台。その近くのフレンチレストランの名が「霧笛楼」となっている。

記念館にあるお洒落なティールームは大佛次郎夫人の命名で「霧笛」。

猫好きの大佛次郎に因み佐藤忠良作の猫の像があり、他にも猫の絵、置物がある。

記念館の建物は一九七八年には第二十回建築協会賞（BCS賞）を受賞し、一九八八年には、かながわの建物百選にも選ばれた。

